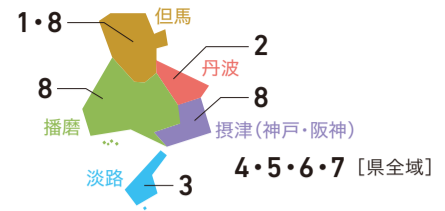


# 旬トピ! ~Timely Topics in HYOGO~



ひょうごフィールドパビリオン | 2025年大阪・関西万博に向けたSDGs体験型プログラムを紹介

## 1 産業遺産に学び郷土料理に挑戦 銀輪で訪ねる朝来の暮らし

今月の表紙

昨年スタートした「Asagoで暮らす旅」は、生野鉱山の職員住宅を活用したゲストハウス「IKUNO Stay」を拠点とする1泊2日のプログラム。地域の人々との触れ合いを第一に、史跡生野銀山や神子畑選鉱場跡といった「鉱石の道」をたどるツアー、野菜の収穫と郷土料理作りの体験ツアーなど5種類※

から選べます。ツアー中の移動手段にはE-バイク(電動アシスト付き自転車)を採用。風景を眺めながら、谷を渡る風や草花の匂いを感じるのにちょうどいいスピードです。環境に優しいSDGsな旅としても人気を集めています。(朝来市観光協会 吉原剛史さん)

※プログラム内容は希望に応じてカスタマイズできます



ひょうごフィールドパビリオンとは  
万博に向けて地域の持続可能な未来を実現する活動の現場(フィールド)を展示館(パビリオン)に見立てて発信する取り組み。

Asagoで暮らす旅  
①1人3万円台(1泊2日)  
※料金はプログラムにより異なります。詳細についてはホームページの問い合わせフォームから確認してください  
②朝来市観光協会 ☎079-668-9177 ③079-668-9178 朝来トラベル&ステイ 🔍

①E-バイクで鉱山関連のスポットを巡ります。②有機栽培の野菜を収穫。③IKUNO Stayの部屋には昭和期の調度品が展示されています。④プログラムを支えるのが、南アフリカ出身の双子の兄弟。兄ケビン・ネルさん(左)はサイクリングツアーのガイド、弟レハン・ネルさんはIKUNO Stayの運営を主に担当しています。※①②Asago Cycling提供 ③IKUNO Stay提供

## 2 “青もみじ”を楽しみながら 限定の御朱印を集めませんか



10カ寺の一つ、白毫寺の青もみじ。

「丹波青もみじめぐり」を6月30日(金)まで開催しています。期間中に丹波市内の明智光秀にゆかりのある10カ寺を訪ねると、緑色のスタンプを押印した限定の御朱印を頂くことができます。これまでは紅葉の時季のみイベントを実施していましたが、お寺側から美しい新緑の魅力も知ってほしいという声が上がリ、今年から始まりました。みずみずしい“青もみじ”と共に、歴史あるお寺巡りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(丹波市観光協会 足立広美さん)



御朱印用のスタンプは新緑をイメージして緑色のインクを使用。各寺1枚300円。

④丹波市観光情報センター「丹波ええとこナビ」  
☎0795-70-3501 ⑤0795-70-3502 青もみじ 丹波 🔍

## 3 サイクリング中に見つけた すてきな写真を募集中!

「アワイチ」「ピワイチ」の愛称で親しまれる、淡路島と琵琶湖をそれぞれ一周するサイクリングルート。「自転車」×「発見」をテーマに、合同でフォトコンテストを実施しています。島内をサイクリングし、とっておきの“発見”をInstagramに投稿してください。入賞者には、ペア宿泊券や特産品などを進呈! すてきな作品をお待ちしています。(淡路島観光協会 藤永泰生さん)



自転車で発見!  
Instagramサイクルフォトコンテスト  
⑥6月30日(金)まで

参加方法など  
詳しくは  
こちら



⑦(一社)淡路島観光協会観光戦略室 ☎0799-22-0742 ⑧0799-24-4470